

地元中小企業と久留米工業大学生をつなぐインターンシップ支援事業

令和3年度

久留米工業大学 学生研修報告書

社長のかばん持ち体験

～社長についてまわる2日間～



久留米工業大学
KURUME INSTITUTE OF TECHNOLOGY



がんばるあなたを応援したい
筑後信用金庫

目 次

研修受入企業名
参加者氏名(所属学部学科)

株式会社 木原ハイテック	
福永 大希 工学部 情報ネットワーク工学科	4
株式会社 カネタニ	
江頭 諭紀 工学部 建築・設備工学科	6
有限会社 東亜商会	
久富 力 工学部 情報ネットワーク工学科	8
株式会社 ヒサミツセンター	
大和 啓悟 工学部 機械システム工学科	10
株式会社 アズマ	
林田 岬 工学部 建築・設備工学科	12
株式会社 丸 信	
竹之下 潤 工学部 交通機械工学科	14



学 長

今 泉 勝 己

ご 挨拶

久留米工業大学は1966年の建学以来、「人間味豊かな産業人の育成」を建学の精神とし、それを実現するため「知を磨き」「情を育み」「意を鍛える」ことを教育の基本理念としています。

今年度も一昨年に続いて、筑後信用金庫様と2017年6月28日に締結しました包括的連携協定事業の一環として3回目の「社長のかばん持ち体験～社長について回る2日間～」を実施いたしました。なお、昨年は、コロナ禍により中止いたしました。

この体験事業は、単なる就業体験だけでなく企業のTOP(社長)と行動を共にし、経営者の日々の業務やお考えに触れると共に、地元で活躍される様々な企業を知り、自身の就業力の向上やキャリア形成に大いに参考になるものです。

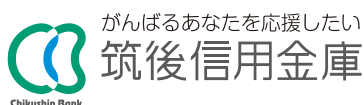
8月に行われた事前研修では、社長との同行の際に実践できる名刺交換や挨拶などのビジネスマナーを受講した他、企業が求める人材像、地元中小企業の魅力についてお聴きする時間も頂きました。8月～9月に行われた地元企業での2日間の派遣実習では、材料仕入れや取引先訪問等への同行、社外での会議や社内ミーティング等を体験させて頂きました。なお、日程調整次第になりますが、地元FM局への出演も予定されています。

10月、11月に大学内で実施した中小企業診断士によるPower Point研修、プレゼンテーション練習会を経て本日の報告会を迎えています。参加した学生にとっても、このような場で報告(発表)を行う事は、緊張を伴うと共に大変有意義な機会になると思料します。

本学は県南部にある唯一の工業大学として、“地域の産業界から頼りにされる大学となる”を目標として、地域で活躍できる人材を育成し、地域の皆様と連携して、産業の活性化や産業創出のお手伝いをさせていただきたいと考えています。

この「社長のかばん持ち体験」が、これからも本学学生と地域の中小企業経営者の皆様にとって意義あるものとして継続していくことを願ひまして、大学からのご挨拶とさせていただきます。

最後に、この度の事業実施に際してご協力をいただきました皆様へ厚くお礼を申し上げます。



理事長

江口和規

ご挨拶

皆さま方には、平素より筑後信用金庫をご愛顧、ご支援賜り、厚くお礼を申し上げます。

この度、久留米工業大学様と、平成29年6月に締結した包括連携協定に係る連携事業として、第3回「社長のかばん持ち体験～社長について回る2日間～」を実施いたしました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止した本事業ですが、今年度は受入企業様の温かいご理解とご協力を賜り、本日の報告会開催の運びとなりましたことを非常に喜ばしく思っているところでございます。

本事業は、久留米工業大学生に、地域と中小企業を学んでいただくとともに、様々な分野の人に会える機会を提供し、大学生自身の将来の「キャリアデザイン」形成に役立てていただきたく開始したものでございます。

本年度もこれまで同様、通常のインターンシップとは一線を画し、大学生が夏休み期間である8月～9月を利用して2日間の「社長のかばん持ち」を行いました。久留米工業大学生には、客室乗務員養成学校の協力を得て、一流のビジネスマナー等を学んでいただく「事前準備研修(8月10日開催)」を受講してから臨んでいただきました。

そして、10月27日には、プレゼンテーションに定評のある中小企業診断士を招聘し、「PowerPointによるプレゼンの肝」と題した研修を受講いただき、11月19日の「プレゼンテーション練習会」を経て本日の「社長のかばん持ち体験『報告会』」に臨んでおります。

当金庫の主要営業エリアでございます福岡県南部の筑後地域においても、これから予想される大幅な人口減少は大きな問題となっております。当金庫としましては、この人口減少、そして労働力不足に対し、微力ながらも様々な取組を行い、地域に貢献していきたいと考えております。

そして、これからも、地域の大学生を中心とした若者に、「地域とは?」「中小企業とは?」、そして「経営者とは?」を問いかけ、少しでも地域と中小企業に魅力を感じてもらい、地域で活躍する人材輩出のお手伝いをしていきたいと考えております。

「社長のかばん持ち体験」が、地域の中小企業経営者の皆さまと地域の大学生の皆さま、この地域にお住まいの皆さまにとって、有益なものとなることを祈念して、私からのご挨拶とさせていただきます。

なお、本日に至るまで「社長のかばん持ち体験」の実施にあたりまして、関係各位には多大なご協力を賜りました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。また、今後も変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

「社長のかばん持ち体験」報告書



福永 大希

久留米工業大学工学部
情報ネットワーク工学科3年

実習企業：株式会社 木原ハイテック

代表取締役 木原 慎一郎

《趣味または現在取り組んでいること》

趣味は魚釣りや映画鑑賞です。

現在大学での取り組みとして、「ものづくりプロジェクト」に所属し、主に部品加工や回路設計、プログラミングによるロボット制作をしています。また、将来は高校教員を志しているため資格取得の勉強にも励んでいます。

「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目	○本社工場見学 ○大型建設用車両のタイヤ金型の製作 ○旋盤切削の様子など ○プログラム室見学 ○CADによるNCデータ(大型建設用車両)モデリングの作業
2日目	○広川工場見学 ○小型車両タイヤ金型の製作 ○旋盤切削の様子見学 ○プログラム室見学 ○CADによるNCデータ(小型車両)モデリングの作業

～社長の従業員一人一人に朝の挨拶をする姿に感動しました!～

インターンシップ参加の目的

通常の仕事体験とは異なるインターンシップという点で経営者の一日に同行し、経営者の行動や発言に直接ふれることでビジネスの最前線を肌で体験し経験値を積み重ねたいと思い志望しました。そして、社長に同行することで経営者としての考え方や取引先企業との対応を通して、日頃出会えない人脈にも出会えるなど、経営の最前線を体験できることに大変興味を持ちました。

この体験を通して、経営者目線というものがどういうことなのかを体験し、今後のキャリアデザインの参考にできればと考えています。



「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

◇1日目 令和3年9月13日(月)

7:45からの朝礼とラジオ体操に参加しました。就業前の安全確認を社員の皆さんと行いました。危険な作業が伴う事を肌で感じました。そして、本社工場内での作業を見学する中で、安全ゴーグルや防塵マスクの着用を徹底するなど、安全にとっても配慮していることが分かりました。私は「従業員を朝出社した姿(健康な姿)で帰す」、従業員の健康を守る事が会社を守る事に繋がるという経営者としての熱い思いを聞いて、経営者としての強い責任感を感じたことが今日一番の収穫でした。

更に現場で、大学のものでづくりセンターにある旋盤機とは比べ物にならないほど大きな旋盤機を目の当たりにしたのが圧巻でした。

そして、業務の上でプログラム室での作業は、製品を加工する中で最も重要な作業であると教えていただきました。取引先からの図面の通りに数ミリ単位でモデリングを行います。製品により異なるがこの作業が数週間かかる事を知り大変驚きました。

◇2日目 令和3年9月14日(火)

前日同様朝礼とラジオ体操を行い就業前の安全確認を行いました。

今日は広川工場に同行し、工場内とプログラム室を見学しました。その際、従業員一人一人に「おはようございます。よろしくお願いします。」と挨拶をする社長を見て、自分の中の社長の在り方が変わったように思いました。広川工場では本社工場で扱っていない飛行機の部品などもあり、大変興味を持ちました。

また、働きやすい職場環境を提供するために工場内に冷暖房が完備されており、作業服を着用していても快適に過ごすことができていました。

社長とお話する中で一番印象に残ったのは先代から受け継いだ時の想いです。「絶対に潰さない」という強い決意があったことを知りました。従業員の方も気軽に声をかけしてくださったり、とても居心地の良いインターンシップになりました。

◇まとめ

社長のかばん持ち体験の2日間を通して、経営者の目線や考え、想いなどを知ることができました。

常に感謝の心を忘れない事と周りの人から慕われる存在である社長の姿に感動しました。特に、朝登校する小学生が安全に道路を渡れるように社長が登校指導をしている姿を拝見し、地域に密着した企業とはこういう事も含まれると感じました。自分が将来社長になるかどうかは別として、人柄や行動、考え方などを吸収し、自分が社会に貢献できる人物になろうと改めて思いました。

貴重な体験ができたことを木原ハイテック様はじめ筑後信用金庫様や久留米工業大学の今回の体験に関わっていただいた皆様に感謝の気持ちを忘れないことと、これらの経験を今後の就職活動に活かしていきたいと考えています。

ありがとうございました。



「社長のかばん持ち体験」報告書



江頭 諭紀

久留米工業大学工学部
建築・設備工学科2年

実習企業：株式会社 カネタニ

代表取締役社長 金谷 正永

《趣味または現在取り組んでいること》

趣味はスポーツ観戦です。好きな選手が出ている試合を観戦するのが一番の楽しみです。

私が現在取り組んでいるのは資格取得と、就職活動を目指し、早い時期からインターンシップ等にも積極的に参加し、経験を沢山積み重ねることで今後の就職活動に活かしていきたいと考えています。

「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目	○朝礼 ○営業ミーティング ○2研修内容説明 ○グループ会社訪問 ○販売体験 ○車輜解体見学 ○写真撮影時間
2日目	○取引銀行訪問 ○エサキ自動車訪問 ○写真撮影時間

～新たな体験で自身の成長に繋がりました。ありがとうございました！～

インターンシップ参加の目的

私は、社会や企業の事に関して全くの無知であり、将来どのような職業に就きたいかも明確に決まっておらず、将来への不安があります。

社長に同行して新しいアイデアや価値観の発見、新たな人脈に出会えることは滅多に体験できないことであり、今後の就職活動や自分自身の成長にも繋がると思い、また目まぐるしい仕事を日常で経験している社長様との出会いは、「将来やりたいことがわからない」といった悩みの解決にも繋がると感じ、今回参加しました。

このインターンシップでの体験を通して、企業のトップの姿をしっかりと勉強したいと思います。



「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

◇1日目 令和3年9月9日(木)

1日目は社長と一緒に会社のトラックを見て回ったり、一対一でお話をしたりと、貴重な体験ができて、とても充実していました。他にも、滅多に見ることができないトラックオークションも見せていただき、その後、トラックのパーツ等を売っているお店も見せていただき、初めて見るパーツの種類之多さに驚き、とても興味が湧きました。

そして、社員の方と直接お話ができる貴重な時間もいただき、終わりには車両解体場の見学もさせていただく等、充実した1日でした。

初日のインターンシップ体験で就職活動への意欲が少しずつ湧いてきました。

◇2日目 令和3年9月27日(月)

2日目は、筑後信用金庫様へ訪問し、本店営業部長の坂本様、地方創生推進サポートチーム参事の緒方様、金谷社長の打ち合わせに同席しました。話している内容は難しい内容でしたが、企業のトップの方と金融機関の方が話をする場面に同席できたことは、このインターンシップに参加したことで得ることができた貴重な体験であり、大変勉強になりました。

その後、「株式会社エサキ自動車」の訪問に同行しました。会長の江崎様と、金谷社長、私の3人でお話しをしました。企業のトップの方の、地元への熱い思い等のお話しをそばで聞くことができ勉強になりました。

2日目は私がこれまで経験をしたことがない世界であり、これから就職活動をして社会人となる私自身にとって、とても成長できた時間となりました。そして最後はレッカー車を間近で見せていただき、「凄い！」という感動でこの2日間のインターンシップが終わりました。

◇まとめ

2日間のインターンシップで私自身が知らない世界を沢山体験でき、とても勉強になりました。

社員の方も中々見ることができないオークションやレッカー作業を間近で見せていただけたことに大変感謝いたします。

今回のインターンシップを通して、自身の成長、今後の就職活動に活かしていきたいと思います。

2日間の貴重な体験を計画していただいた社長様をはじめ社員の皆様に、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



「社長のかばん持ち体験」報告書



久富 力

久留米工業大学工学部
情報ネットワーク工学科3年

実習企業： 有限会社 東亜商会

代表取締役社長 中島 一美

《趣味または現在取り組んでいること》

私は、組込みソフトウェアに興味があり、ロボットを作るプロジェクトに参加しています。趣味は、バイクと車です。将来は、この2つの経験を活かせる、自動車の組込みソフトウェア開発をする仕事に就きたいと思っています。

「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目	○朝礼に参加 ○会社についての説明 ○社長のお話 ○注文受付、発注業務の見学 ○倉庫仕分け作業の見学、体験(午後)
2日目	○朝礼に参加 ○倉庫仕分け作業の見学(午前) ○取引先の見学(3社)

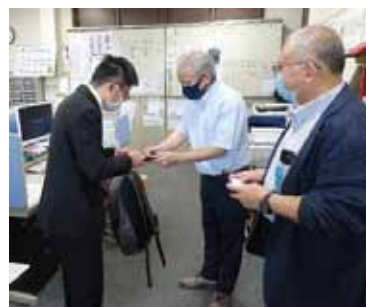
～時代の変化に対応するために、

先を見据えた行動が大事だということを学びました！～

インターンシップ参加の目的

私は、ロボットを作って大会などに出場するプロジェクトに参加しています。今年からリーダーを務めることになったのですが、初めての経験のため、どのように行動すれば良いのかが分かりませんでした。

この社長のかばん持ち体験で、リーダーとしての考え方や行動を学びたいと思い参加しました。また、東亜商会の業種である卸売業に、これまで触れる機会が少なかったため、東亜商会の仕事にも興味があり、今回の体験で卸売業の仕事内容や、仕事をする上での苦勞なども勉強できればと考えました。



「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

◇1日目 令和3年9月21日(火)

朝礼の後、会社の説明と社長のお話を伺い、経営者としての経営方針を勉強しました。社長は時代の変化に素早く対応するために、この先どうなるのかを予想して経営をしていると話されていました。そこから、経営者は先を見据える力が必要だということ学びました。

その後、仕事現場の見学や体験もさせていただきました。最初に、注文受付と発注業務を見学しました。整備工場からは、絶え間なく注文が届きますが、社員の方が慌てることなく、正確に素早く対応している姿に感動しました。次に、倉庫仕分け作業の見学と体験をしました。東亜商会では、数多くの部品を取り扱っているため、倉庫にも部品を正確に素早く届ける工夫がなされていました。

1日目、社長のご配慮で業務も体験でき有意義な1日でした。

◇2日目 令和3年9月22日(水)

2日目は東亜商会と取引をしている企業訪問に同行しました。同行する際、「どんな企業なのか?どんな方と会うのか?」と、大変緊張しました。最初の訪問先は、トラックや自動車の整備をしている企業で、東亜商会が届けた部品を実際に使用している現場を見ることができました。そこでは、トラックの部品をメインに扱っているため、部品の配送などが遅れると、物流にも影響する大変重要な業務だということを教えていただきました。

次に訪問した企業はトラックのメーカーで、トラックの純正部品を取り寄せてもらっている企業ということで紹介を受けました。このように様々な企業との取引で成り立っていくため、取引先との関係を大切にしていることを学びました。2日目は東亜商会とその取引企業の繋がりを学ぶことができました。

◇まとめ

社長のお話から、時代の変化に対応するために、先を見据えた行動が大事だということを学びました。私はロボットの大会を控えていますが、チームで効率よく作業をするために、今回学んだことを活かし、リーダーとして部員が活動をしやすいよう計画性をもって、プロジェクトをまとめていきたいと思います。

今回の体験で、私の知らない世界を体験することができたこと、企業のトップとしての姿を勉強できたことはとても良い経験となりました。

コロナ禍の中、参加させていただきありがとうございました。



「社長のかばん持ち体験」報告書



大和 啓悟

久留米工業大学工学部
機械システム工学科2年

実習企業：株式会社 ヒサミツセンター

代表取締役 宮原 久人

《趣味または現在取り組んでいること》

趣味は読書です。好きになったきっかけはライトノベルです。物語の風景やキャラクターの心情などを思い浮かべるのが楽しいです。今では本格的な小説を読めるようになり、1ヶ月に20冊程読んでいます。

「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目	○朝礼 ○スケジュール確認 ○社内見学 ○長門石保育園訪問 ○みなみの風こども園訪問
2日目	○朝礼 ○スケジュール確認 ○玩具の包装作業 ○久留米市南校区学童保育所 ○玩具の包装作業 ○遊具に取手を付ける作業

～自分に足りないものをたくさん吸収できた2日間でした！～

インターンシップ参加の目的

大学入学以来、様々なことに挑戦し、体験を積み重ね自分を深め成長することを一つの目標としてきましたので、その一環として「社長のかばん持ち体験」に参加することを決めました。

また、2年生になって大学卒業後のことを意識するようになり、就職活動を行う上で自分に足りないものをより多く見つけたかったので、社長と直接話せるこの機会は就職活動に向けて準備するうえで大いに役立つと考え、参加を決意しました。



「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

◇1日目 令和3年8月18日(水)

移動時間に社長と話す機会があり、「社員のモチベーションをどうやって保っているのか」を質問しました。社長からは「それは自分の出来ないことを素直に話すことと、会社全体の目標を掲げ、それを毎日口に出して確認すること」と答えが返ってきました。

私なら日常生活においても出来るところだけを見てほしいと考えてしまい、地位が高ければ高いほど弱みなんて見せたくないと思いますが、社長のお話に感動し、とてもよい勉強になりました。目標を口に出し確認することは、会社運営に関わらず実践すべきことだと思いました。

そして長門石保育園を訪問し、保育士の方と初めての名刺交換をしましたが、気恥ずかしさと緊張で手が震えました。その後、協力業者との打ち合わせに同席し、社長の行動を拝見し、無駄のない行動に驚かされた1日でした。

◇2日目 令和3年9月14日(火)

2日目は社長に何故保育園や幼稚園の砂場に力を注いでいるのかを聞くことができました。社長からは「子供たちにとって砂場はコミュニケーション能力を磨くために必要不可欠な場所だ」というお返事をいただきました。砂場で目新しい石や貝殻を拾ったら誰かに自慢する。そして自慢された相手も自分も探すため、見つけた子と協力し合い繋がりが生まれ、それが連鎖することによりコミュニケーションの場になると聞いて、そんな思いが砂場に込められていたことに驚き、何気なく見ていた砂場がとても大切な場所だと気付かされました。

その後、南校区学童保育所に同行し、学童保育所の今回の工事をお願いしている協力業者の社長に会いました。学童の手洗い場を囲うカーテンを取り付けるための打ち合わせに同席し、あらゆる場面を想定しミスがないよう対策を考え打ち合わせをするお二人の様子を拝見し、企業としてお客様に責任感を持って、安心と信頼を提供することの大切さを強く感じました。

私自身も社会人となった時、自分の働く姿勢として身につけなければいけないことだと感じました。

◇まとめ

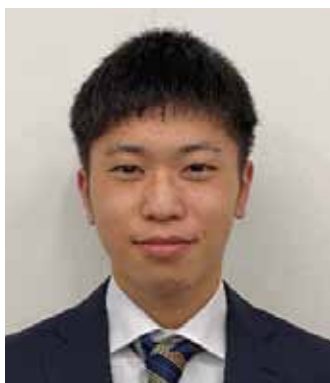
今回の体験は、私にとって就職活動以降にも繋がる、かけがえのない経験になりました。

2日間という時間では全部を理解できたわけではありませんが、この経験を土台に、これからも様々な活動をし自分を深めていこうと思います。

今回、貴重な体験を計画していただいた関係者の皆様と、実習で2日間様々なことをご指導いただきましたヒサミツセンターの社長様をはじめ社員の皆様に感謝申し上げます。



「社長のかばん持ち体験」報告書



林田 岬

久留米工業大学工学部
建築・設備工学科2年

実習企業：株式会社 アズマ

代表取締役社長 中島 一嘉

《趣味または現在取り組んでいること》

私はよく散歩をします。歩くことは大好きです。朝時間があるときに家の周りや、外出先で時間ができた時にその周辺を散歩して、景色や匂いで気づいたことや感じたことを、簡単にメモして記録を残し後で読み返し、その時の環境を思い出しています。

「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目	○「建築と環境について」並びに、アズマの事業内容についての説明を受ける ○打ち合わせに立ち会う ・プロジェクト「LED'S」の説明を受ける
2日目	○株式会社大匠建設を訪問し、社長から説明を受ける ○リフォーム工事の現場を見学、建築士の方から説明を聞く

～周囲で起こっていることにも目を向け、

そこで得た気づきや発見を大切にしたいと思います!～

インターンシップ参加の目的

今回「社長のかばん持ち体験」は、企業の社長に同行するという通常のインターンシップや職場体験、アルバイトなどでは得ることのできない、経営に関する理念や手法などの経営者としての立場での考え方を学ぶ良い機会と考え、参加したいと思いました。

また、この体験を基に、今後就職活動をする際、面接や志望動機などを考えるときに役に立つのではないかと思います。更に就職活動に入るとき、広い視野と柔軟な考え方を身につけるヒントとして良い体験になりそうです。



「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

◇1日目 令和3年9月14日(火)

1日を通して、中島社長と事業推進室の中島勘太郎様から、昨今と未来(10年後、30年後)の建築と環境について、断熱リフォーム事業「HACO」、進行中のプロジェクト「LED'S」などの事業内容のお話を伺うことで、これからの環境を考えた時に建築が大きなキーポイントになり、その建築へのアプローチの仕方が大事になってくるとい主環境問題に対して建築分野の重要性を学ぶことができました。

またお話をお伺いする中で、地元八女市に対する強い想いを感じることができました。

そこには将来お孫さん達世代が八女で暮らしていくとなった時、「仕事がない」「稼げない」といったことが起きないようにという想いや次世代に対する使命感があることを勉強させていただきました。

◇2日目 令和3年9月15日(水)

2日目は、午前中に那珂川市にある株式会社大匠建設さんの井上社長を訪問しました。先ず、名刺をお渡しするとき大変緊張しました。

そこでは、CLT工法やBIMについての説明を受け、これからの建築に必要なことや職人の技術の継承問題など、今までの生活では真剣に聞くことができなかった日本が抱えている課題について説明を受けることができ、大変勉強になり充実した時間でした。

その後、八女市星野村で現在工事中の90年前の家屋を高気密・高断熱リフォームしている現場に連れて行っていただき、建築士の春口様にリフォームの大変さや難しさ、90年前の家屋ゆえの特殊な問題などを説明していただいた一方で、やりがいや面白さについても教えていただきとても勉強できました。

◇まとめ

2日間を通して、自分の目の前で起こっていることだけでなく、周囲で起こっていることに目を向け、そこで得た気づきや発見した課題を10年後、30年後、またはもっと先の未来に向けてどう活かすか、どう解決しようとするかを考えることが、私たち世代に求められていることなんだとわかりました。

今回、中島社長に同行し、社長をはじめ、中島勘太郎様、井上社長、春口様から様々な多くのことを学びました。

学んだことを基に、色々な視点から物事を考え、社会に求められる人材になれるよう、更に学びを深めていきたいと思います。

この度は、このような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。



「社長のかばん持ち体験」報告書



竹之下 潤

久留米工業大学工学部
交通機械工学科3年

実習企業：株式会社 丸 信

代表取締役社長 平木 洋二

《趣味または現在取り組んでいること》

私は好奇心旺盛で、学生生活ではたくさんのことを経験し、知識や見聞を広める事に注力しています。現在、近くの中学校に陸上の外部コーチとして教えに行ったり、NPO 法人の理事をさせて頂いたりなど、忙しくも充実した学生生活を送っています。

「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目	○企業説明 ○他事業様との情報交換 ○本社内の見学 ○外部企業様との打ち合わせ ○SPI試験受験○営業戦略MTG
2日目	○スーパーマーケットのMTG ○通販のMTG ○近畿大学卒業式スピーチ鑑賞 ○食品衛生ラベル審査 ○筑後信用金庫訪問 ○SPI試験評価 ○OEMのMTG

～お客様との関わり方、企業の代表者としての考え方に感動しました！～

インターンシップ参加の目的

目まぐるしく変化する世の中のニーズをどのように掴んで対応され、多くの従業員の方を抱える企業の代表者として1日をどのようなスケジュールで動かれているのか学びたいと思っています。

そして、通常のインターンシップや職場体験では得ることのできない価値のある体験にしたいと思います。



「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

◇1日目 令和3年8月17日(火)

1日を通して、丸信様はお客様をととても大事にしている企業だと感じました。お客様の商売が繁盛するようにとことん応援し、お客様の役に立つサービスを始めたりなど、お客様に寄り添っているからこそ、信頼を獲得して、継続的に仕事を任せていただける企業に成長していると感じました。このことから平木社長のお客様を第一に考える姿勢と知識・判断力の凄さを強く感じました。その上、社長は日頃から車移動の際、車内で自分の読みたい本を1.5倍速で流されていたり、また自分たちの業界に関する情報はすべてメールで届くように設定されたりなど、日頃からどんなに忙しくても時間を有効に使い、努力を惜しまない方だと思い、私も頑張らなければいけないと感化されました。

◇2日目 令和3年8月18日(水)

2日目は、社長が大切にしている言葉を2つ教えて頂きました。それは「塞翁が馬」ということわざと、「ラーメン屋はラーメンの味を美味しくすることを怠ってはならない」というお言葉です。1つ目に関しては、平木社長が大事にされていることわざで、「不幸だと思っていたことが実は幸運につながったり、幸運だと思っていたことが後に不幸につながったりするように、人間が遭遇する出来事はその時点で幸か不幸かが予測しにくい」ということで、2つ目は例え話で、売り上げを伸ばすために社長はいろいろな人と仲良くなりに行き、自分のラーメンを食べてもらおうとアピールするのもいいが、根本として、おいしいラーメンを作る、味を良くしていく努力を怠ってはならないという事を教えていただきました。

この2つの言葉はとても心に残り、私も大切な言葉として常に念頭において行動をしようと思いました。

◇まとめ

2日間を通して、お客様との関わり方や、企業の代表者としての考え方など、参加の目的にしていたものを全て得ることが出来ました。これらを余すことなく伝えていただき、私の目的を叶えてくださった平木社長には感謝の気持ちでいっぱいです。

また私は、将来経営者になることを目標としているので、今回のインターンシップはとても大きな体験となりました。

コロナ禍の中で、準備が大変な中、このような体験の場をご提供いただいた、筑後信用金庫様、久留米工業大学の就職課の方、受け入れてくださった株式会社丸信様、ありがとうございました。



MEMO

